

報告日 令和 6年 11月 22日 (金)	報告者 吉武惇二
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記
開催日時 令和 6年 11月 14日 (木) 午前 10:00 ~ 12:00	開催場所 金沢公会堂第2会議室
参加人数 男性9名 女性4名 合計13名 (欠席者1名)	
<p>学習会の冒頭にあたり、真田講師より「来年の1, 2, 3月のテキストは10月9日から10月29日までを精読し、これが終われば、酒井伴四郎日記は終了することとする。来年4月からは新たな教材を予定」との報告があった。</p> <p>今月の学習会は、伴四郎日記の8月24日の後半から9月2日までを精読した。</p> <p>これまで叔父様と伴四郎の性格の違いを指摘してきたが、8月24日の日記は顕著だ。障子の代金を勘定したところ、叔父様は銀貨で280文になると言い、伴四郎は錢所で勘定したら278文になると言って口論となった。叔父様は2~3文の細かいことは好きなようにせよと腹を立て、伴四郎は細かいことの積み重ねが、最終的には皆のためになると反論している。</p> <p>このように、几帳面に日記をつけ、やりくり上手な伴四郎に対して、大まかで細かいことに気を使わない叔父様の性格の違いが如実に表れている。伴四郎にとって、叔父様の不満な点を記述したこの部分は、絶対に叔父様に読まれたくない所だったのであろう。</p>	
<p>次回予定 令和6年12月12日(木) 10:00~12:00</p> <p>場 所：金沢区民活動センター AB 会議室</p> <p>テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記</p>	